

釧路森林資源活用円卓会議 (第2回全体会 資料)

釧路市農林課



本日の内容について

- 1 . 今年度の取組状況
- 2 . 議題
 - (1) PRポスター、シールのデザインについて
 - (2) 今後予定のイベント開催
 - (3) 平成26年度の新たな取組について

1 . 今年度の取組状況

開催状況

5月13日 全体会議

平成24・25年度の取組について

7月12日 第1回川下部会

カラマツ木製品展示会、パネルディスカッション

8月2日 第1回人材育成研修

釧路市動物園アルパカ舎見学会

11月13日 第1回川上部会

市有林の路網整備と低コスト施業

地域再生計画の認定について

6月28日「くしろ木づなプロジェクト」
内閣府より地域再生計画として認定され
特定地域再生事業として採択

平成25年度「木づかい運動顕彰」受賞

農林水産省では、平成25年度「木づかい運動」の一環として、国産材利用の意義等のPRを積極的に行った普及啓発者に「木づかい運動感謝状」を贈呈することとしており、このたび、釧路森林資源活用円卓会議は、受賞者に選ばれました。



木づなプロジェクト 「もっと知る,くしろの木」の取組

- 地域材の品質を明確に示しユーザーの信頼構築
- 流通コストの明確化とコストの低減

【継続】品川シェルター強度試験
カラマツ材によるマニュアル作成 日大に10月に委託発注済

【新規】木材の造材コスト把握
大型機械の導入などが進み、
低コスト化が進むなか、現状の
コストを把握 12月に行程調査を実施

【新規】市有林への路網開設効果の把握 第1回川上部会

【新規】ハイブリッドログハウスの開発 デザイン設計まで終了

- 第1回川上部会の様子

日時：平成25年11月13日

場所：標茶町中茶安別

間伐などにより森林整備を効率的に進めるためには、林業機械の導入が必要であり、生産の基盤となる低コスト路網を整備する必要がある。釧路市阿寒町飽伐に位置する市有林のカラマツ人工林は間伐や更新伐が必要となっている。一方で、既存の路網については、林業機械や10tトラック走行が困難な状態であり、路網整備の是非について検討した。

大澤川上部会長
(右から3人目)



既存の路網の状況

主な意見：

木材マーケットへの安定した径級構成の原木供給が必要
林業機械を効率的に運用するには、間伐は列状とするなど機械にあわせて伐採方法を決定する必要がある。
林業機械利用は、**高密路網**が前提となる

木づなプロジェクト 「もっと使う、くしろの木」の取組

課題 ・画一的な木材利用
・顧客ニーズにあった商品提供
地域内での幅広い使い道の検討

【継続】商品開発 12月に公募委託予定

【新規】開発した製品の成果発表会 7月12日開催済み

【継続】公共建築物での利用 阿寒小学校学習机、市営牧場の木柵 釧路市動物園アルパカ舎 山花温泉リフレのレストラウ(インカテラ)	学校机順次導入 市営牧場の牧柵順次導入 アルパカ舎(9月竣工) リフレ(12月整備予定)
--	---

【継続】くしろ・ねむろ「木づな」の家 6月申請、8月採択

【新規】木材利用ポイント

開発した製品の成果発表会

(第1回川下部会の様子)

日時：平成25年7月12日

場所：釧路工業技術センター



長谷川川下部会長による挨拶



パネルディスカッションの様子



パネルディスカッションの様子



展示会の様子

開発した製品の成果発表会

(第1回川下部会の様子)

これまでに開発してきたカラマツ製品を紹介するパネルディスカッションと展示会を開催

【パネルディスカッション】

- ・製材業から丸善木材の鈴木社長、建具家具生産業から釧路建具家具生産協同組合の大津理事長、住宅設計の立場からMOBI建築・都市研究所の辻谷一級建築士、工務店の立場からイーワークス芳賀専務取締役が、カラマツ材の利用実績について発表。
- ・「ねじれる」「狂う」と言われて来たカラマツ材だが、乾燥したものを使うなど使い方を間違えなければ、建築材や家具としてカラマツ材は十分利用できるという話となった。

【展示会】

- ・カラマツ材を使用した会議用テーブル、ダイニングテーブル、イス、壁材など商品を展示。
- ・実際に家具建具を販売される事業者の方々が地元だけでなく札幌などからも来場され、開発担当者と開発された商品について意見交換を行った。

公共建築物での利用



釧路市動物園アルパカ舎



サイクリングツアーサポートステーション
(たんちょう釧路空港)

木づなプロジェクト

「もっと伝える,くしろの木と技」の取組

課題 ・ プロモーション不足
 ・ 木材を利用する地域の共通認識不足
 人材育成、利用するエンドユーザー（応援団）増加

【継続】人材研修 8月2日開催（アルパカ舎）

【継続】バスラッピング 継続実施中

【継続】ポスターによる啓発 継続実施中

【新規】メディアを利用した発信 別紙参照

【新規・再掲】開発した製品の成果発表会 7月12日開催

【継続】木育イベントの実施
 木の砂場向け玉作成検討など 別紙参照

メディアへの発信について

地元FMラジオによる木材のPRについて

円卓会議メンバーにアンケート実施

回答18 未回答12

ラジオによるPRに賛成 16

費用負担

折半 12 、市100% 3

出演可 4

PRには賛成であるが、出演は難しい
 企画内容、回数の見直しなど仕切り直し

-木育イベントの実施

木工教室

日時 :平成 25年 6月 29日

場所 :釧路市生涯学習センター「まなぼっと幣舞」



木育マイスター鈴木氏による森のお話し



真剣に話を聞く子供たち



大津理事長はじめ釧路建具家具生産協同組合の皆様の指導により子供たちはカホンを作成し、無事に完成しました



-木育イベントの実施

木育出前講座

目的カラマツ学校机の整備にあわせて木育推進

小学校で木育を進める上での課題：

イベントや工作など少人数向けのカリキュラム

モデル的に、釧路総合振興局森林室により
森林・木材に関する木育出前講座を実施予定

(平成26年1月)

(湖畔小学校、愛国小学校、鳥取西小学校)

-木育イベントに参加 2013「木育・森づくりパネル展」

日時：平成25年11月9、10日
場所：イオンモール釧路昭和



円卓会議のパネル展示

当日の様子：
ツリーを作成する木工、
スマートボールで遊ぶ子供たち



釧路市女性団体連絡協議会への 円卓会議の取組のPR

日時：平成25年7月1日
場所：MOO（協議会事務局）



第2回人材育成研修のご案内

日時：平成26年1月23日（木） 午後予定

場所：釧路工業技術センター

講師：東京おもちゃ美術館 館長 多田千尋氏

演題：（仮）木育の推進について

2. 議題

PRポスター、シールのデザインについて

イベントの開催について

平成26年度取組について

PRポスター、シールのデザイン

地元のカラマツ製品が展示されているが、
地元材が利用されていることが伝わりにくい



湿原の風アリーナ



マルシェくしろ（和商市場）

シールや、場所によってはポスターにより
地元材であることをPRする

イベント開催について

「くしろ安心住まいフェア」

日時：平成26年2月15日（土）10:00～16:00

場所：釧路市こども遊学館

主催：釧路総合振興局建設指導課

目標来場者数：300名

カラマツを使った建材や家具等を展示し
円卓会議のPRを行う

その他の主なイベント内容

室内避難体験、防災グッズの展示、
住宅のペーパークラフト、住宅セミナーなど

今後のイベント開催方針

平成23年度は、「こどもフレンドパーク2012」
平成24年度は、「メイドインくしろ」（隔年）

- （案1）くしろ冬まつりにおいて
木づなプロジェクトのPRを行う
- （案2）遊学館において
木づなプロジェクトのPRを行う
- （案3）隔年で、メイドインくしろにおいて
木づなプロジェクトのPRを行う

平成26年度新たな取組について-1

林業専用道の整備

阿寒地区飽別における森林整備実施のため路網を整備

- ・ 延長 : 2,000m
- ・ 総事業費 : 44,300千円
- ・ 事業期間 : 平成26年度～30年度

平成 26 年度新たな取組について-2

カラマツオイルの商品開発

- ・ 枝葉収集・運搬委託
枝葉の収集に係るコスト計算。
地域の社会福祉施設に働きかけ、枝葉の収集・
運搬を委託予定
- ・ カラマツ精油開発研究
採取した枝葉から採取できるカラマツ精油
(アロマオイル)の品質・生産量の開発研究。
工業技術センターに委託予定

平成 26 年度新たな取組について-3

シカ対策

人工林における更新伐 植栽
植栽木のシカ食害被害が深刻
鹿柵の設置などの対策が必要であるが
低コスト化が課題



(参考)更新伐の様子

平成26年度新たな取組について-4 市有林収支見込

市有林販売に伴う事業費、販売費は下記の通り

	平成24年度	平成25年度 (見込み)
伐採事業費	48,295	68,268
補助金	32,508	44,180
販売収入	31,508	38,847

- 【現状】販売収入が伐採事業費より上回る
 【今後】伐採量増加などに伴い販売収入増が将来的に見込めるが、植栽、シカ対策により伐採事業費も増大販売収入増への対応



